

総合学習 「岡田米PR大作戦」

H19年度 5学年 54名 作成

米作りの道具 (昔の道具)

今の米作りは、道具がほとんど機械化してます。岡田小では、あまり機械を使わずに、人の力と昔の道具を使っています。その道具や機械を紹介していきます。



○田車 (たぐるま)

田車とは、雑草を除草することができ、土に酸素をいれることができる道具です。そうすることで稲がじょうぶに育ちます。6月20日位からやると、じょうぶで良い稲と土になります。

○れいき

土に十字型の印をつけて、きれいに苗を植えられることができます。そうすると、良いお米になります。これとは逆に、きれいに植えられないと、稲が均等に広がらないので、水田が蒸れて稲にカビがはえる原因になります。そうすると、稲が病気になってしまいます。田植えをするときに使います



○虫取りロープ

6月から9月に使う道具で、「ドロオイ虫」をとばします。「ドロオイ虫」とは、体に自分のフンをつけて、体をフンでおおっています。どうして付けるかという、かんそうをふせぐためです。この虫は虫取りロープを2人で持ち、ロープを左右にゆらし、虫をとばします。



米作りの機械

だっこく機

稲から稲穂をとる機械。

だっこく機→

もみすり機

だっこく機でだっこくしたもみをする機械。



精米機

もみを取りながら、白米にし自動計量器で米の収かく量をはかれる機械。

岡田小はこの3個の機械だけをつかって米作りをしています。機械は大人が使いますが道具は生徒が使っています。岡田小はみんなで協力して米作りを行っています。